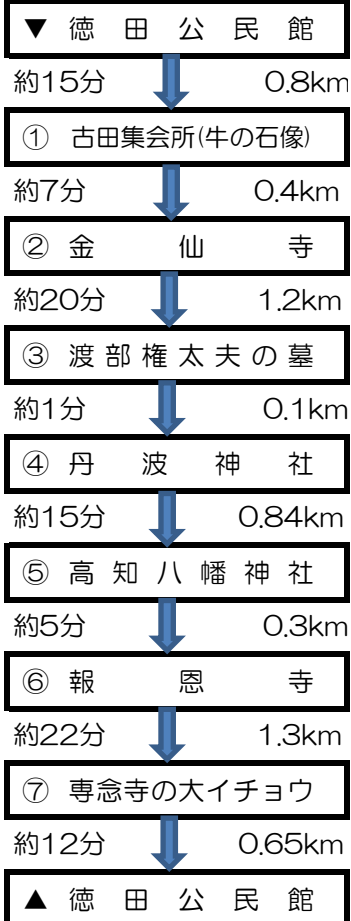


# 徳田地区 名所めぐりウォーキングマップ

スタート!



ゴール!!

\*トイレ利用\*

- ・徳田公民館
- ・金仙寺
- ・専念寺



☆歩行時間：約1時間37分

☆歩行距離：約5.59km

☆エネルギー消費量：約357kcal

体重60kgの人のやや早い歩行速度の場合



## ① 古田集会所(牛の石像)



1805(文化2)年に古田地区で発生した大火災から2百年になるのを機に、記念碑が建立されました。古田大火災は、母屋や納屋など130戸を全焼し、古田地区の3分の2以上が焼ける大惨事になりました。ときの庄屋、芥川源吾が復興に努め、古田村を三筋に分けて道路を造り、道路に沿って水路を設けるなど、現代にも通じるほどの整然とした防災設備を完成させました。今もその名残が街並みに見られます。

## ② 金仙寺



1824(文政7)年に再建され、江戸時代の小堂として、独特な建築様式を残しています。裏庭には、石踏(つわ)の花が10月末から11月初旬にかけて咲くため、つわの寺とも呼ばれています。毎年8月7日には本尊縁日が行われています。

## ③ 渡部権太夫の墓



徳川綱吉の頃、徳能は年々の凶作、厳しい年貢の取立により村民の生活が苦しかったため、庄屋の渡部権太夫さんが江戸幕府に直訴しました。幸いに改まりましたが、庄屋と4人の家族は打首となりました。その5人を弔い碑が建立されました。毎年4月29日を春祭と決め、報恩感謝として祈っています。

## ⑤ 高知八幡神社



1603(慶長8)年、加藤嘉明が武運を祈って宝剣、神供田を寄進し記録や松山藩主の尊崇が厚く、祈雨祈晴、五穀成就の祈願があっがことが知られています。また、神社の裏手に通じる道沿いにツツジの群落があり、古くから『ツツジが丘』として知られています。

## ⑦ 専念寺の大イチョウ



1643(寛永20)年、当時開山の村上龍雲師の1周年を記念に植樹されました。雌木で毎年秋には黄葉イチョウを望見して、付近の農民が麦の播種期を手知したと言われています。太さ4.5m、高さ27m、樹齢380年以上とも言われており、市の天然記念物にも指定されています。

# 21 徳田地区 名所めぐりウォーキングマップ

